令和5年度　年間指導計画（シラバス）

学科	教科	科目（講座名）	対象学年	単位数	教科書	使用教材
普通科・福祉教養科	地理歴史	日本史A	全	2	高等学校改訂版日本史A 人・くらし・未来（第一学習社）	改訂版日本史Aノート（第一学習社） 写真資料館　日本史のアーカイブ（とうほう）

目標と評価規準		
	関心・意欲・態度	歴史的事象に関心・興味を持ち、主体的・意欲的に取り組むことができる。
	思考・判断・表現	歴史的事象を多面的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて、客観的に判断することができる。
	資料活用の技能	日本史に関する諸資料を様々な媒体を利用して収集・活用し、考察した結果を適切に表現できる。
	知識・理解	日本史の基本的な事柄を、世界史的な視野に基づいて理解できる。

学期	月	単元	学習内容	到達度目標
前期	4月	第1部 私たちの時代と歴史	・私たちの時代 ・私たちの身近なところから歴史を考えてみよう	・身近な生活文化や地域社会の変化などに関わる主題を設定し，探究することができる。 ・歴史への関心を高めるとともに，歴史的な見方や考え方を身に付けることができる。
	4月	第2部 近現代の日本と世界	(1)近代への胎動	・江戸時代後期にたびたび外国船が来航する背景や、外圧によって幕藩体制が揺らいでくることを理解できる。
	5月	第1章 近代国家の形成と国際関係の推移	(2)開国と幕末の動乱 (3)近代国家の形成	・開国以後、明治維新を経て、近代日本が急速に形成された過程を国際的な動きと関連付けて考えることができる。 ・新政府の方針の特徴と中央集権体制が整備されていく過程を政治・経済の両面から理解できる。
	6月		(4)国際関係の推移と近代産業の発展	・外交課題であった条約改正に向けた努力を理解するとともに改正実現後は、日清・日露戦争を経てアジアへの侵略に向かうことについて理解できる。 ・日本では、日清・日露戦争の頃に産業革命が起こり、産業や経済が発展を遂げるが、一方で貧富の差などのひずみが起き、それにともなって社会運動が広がっていく相互関係や社会の発展がもたらす正と負の面を理解できる。
	7月	第2章 両大戦をめぐる国際情勢	(1)第一次世界大戦と日本	・日本の国内では民衆運動によって政治が動かされ、政党政治が展開されていくことが理解できる。 ・日本は第一次世界大戦をきっかけに国際社会で高い地位を得るが、アジアに対しては軍事力を背景に強硬な対応をしたが、欧米に対しては協調外交を続けるという2つのスタンスについて理解できる。
	9月			
後期	10月		(2)第二次世界大戦と日本	・明治・大正の時代の移り変わりとともに国民の生活が大きく変わったことを知り、大正デモクラシーとよばれる民主主義的な風潮や限界についても理解できる。 ・うち続く日本経済に有効な手段を見いだせない政界や政治が行き詰まるなかで、軍部が台頭しアジア侵略に向かう日本の姿を捕らえることができる。 ・文化も生活も戦時色に染まっていくことを理解できる。
	11月			
	12月			
	1月	第3章 現代の日本と世界	(1)日本の再出発 (2)独立後の政治と経済の発展	・連合国の占領政策と日本国憲法制定によって日本が新しく生まれ変わったことや朝鮮戦争が勃発するなか、サンフランシスコ平和条約で、日本が主権を回復することを理解できる。 ・日本がアメリカの軍事面に依拠しつつ高度経済成長を遂げ経済大国になったことや、その後冷戦の終結・経済の国際化のなかで、現在まで続く政治と経済の混迷の時代が始まったことを理解する。
	2月		(3)現代の日本と世界	・高度経済成長後、経済大国となった一方で政治や経済の混迷が続く日本の現状について理解できる。